

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

講座の名称	別 科 助 産 専 攻				
実施方法	① 通学 (昼間・夜間・土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)				
指定講座番号(15桁)	4712002	—	2410011	—	8
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間	過去一 年の講 座実績	入講者数(19人)	修了者数 (19人)	
	令和6年4月1日	令和9年3月31日まで			
訓練期間	12ヶ月		総訓練時間	915 時間	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 (助産師国家試験受験資格) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム () <input type="checkbox"/> 専門職大学院 () <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム () <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 () <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ()			
		教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等 受胎調節実地指導員申請資格			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		厚生労働省			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		文部科学大臣の指定した学校において1年以上助産に関する学科を修めた者			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		助産師・医療機関等			
2. 教育訓練の内容					
教科 (カリキュラム)		時間	使用教材名		
別紙のとおり					
3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)					
①受講するに当たって必要な実務経験等		なし			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		看護師免許			
③その他					

〔 特 記 事 項 〕

--

(助産師学校) (沖縄県立看護大学別科助産専攻)

区分	授業科目	配当年次	単位数		時間数	履修方法及び卒業要件
			必修	選択		
コア科目	助産学概論	1年前期	1		15	必修27単位＋選択1単位以上
	基礎助産学	1年前期	2		30	
	基礎助産学演習	1年前期	2		60	
	助産診断・技術学	1年前期	2		30	
	助産診断・技術学演習Ⅰ	1年前期	2		30	
	助産診断・技術学演習Ⅱ	1年前期	2		60	
	ウイメンズ・ヘルス	1年前期	2		30	
	地域母子保健	1年前期	1		15	
	地域母子保健演習	1年前期	1		30	
	助産管理学	1年前期	2		30	
	助産実習	1年後期	10		450	
	ウイメンズ・ヘルス実習	1年後期		1	45	
	離島実習	1年後期		1	45	
関連科目	生命倫理	1年前期	1		15	必修3単位
	健康教育論演習	1年前期	2		30	
	保健情報学演習	1年前期		1	30	
研究	研究への導入	1年前期	1		15	必修2単位
	助産研究	1年通年	1		30	
合計			32	3	990	必修32単位＋選択1単位以上
修了要件			33単位以上 (915時間)			

専門実践教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	19	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	19	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	19	人	受験率(③/②)	100	%
④ ③のうち合格者数	19	人	合格率(④/③)	100	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	12	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	7	人			

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		19	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	7	人		
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	12	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	19	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 希望の職種・業界で就職できる	12	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	19	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	9	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足	10	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

全員が助産師国家試験に合格し、目標である助産師資格を取得し、19人全員が就職できた。

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	期末テスト、口述、レポート、論文、実技等により評価
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	-

専門実践教育訓練明示書

6. 受講効果の把握方法																			
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	出席率2/3以上																		
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	出席確認																		
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	(2)により評価し、単位を33単位以上取得																		
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	期末テスト、口述、レポート、論文、実技等により評価																		
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法																			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	前期の授業科目については、別科助産専攻専任教員4人がサポートする。また、週に1回自己課題解決日やグループ学修の機会を設定する。助産実習においては、専任教員のほか看護支援専門員が実習施設に赴き指導を行う。また、実習施設毎に学生指導スタッフ(助産師)の配置する。																		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種への求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	別科助産専攻専任教員4人で役割担当を決めて次にあげる支援を実施する。																		
8. その他の事項																			
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	公立大学法人沖縄県立看護大学 (代表者名: 神里 みどり)																		
住所及び連絡先	那覇市与儀1-24-1 TEL 098-833-8800																		
施設名称及び施設長名	別科助産専攻 (施設長: 賀数いづみ)																		
住所及び連絡先	同上 TEL 同上																		
苦情受付者	氏名 下中 尋美 所属 看護学部	事務担当者	氏名 所属 学務課																
連絡先	TEL 098-833-8800	連絡先	TEL 098-833-8800																
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) *県内 817,800 円																		
支払い方法	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)																		
① 一括払	県内居住者 282,000 円 その他 512,000 円																		
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)																		
③ 両方可能	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%; text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">第1期</td> <td style="text-align: right;">267,900 円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">第2期</td> <td style="text-align: right;">267,900 円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">第3期</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">第4期</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">第5期</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">第6期</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">(うち、必須教材費)</td> <td style="text-align: right;">円)</td> </tr> </table>				円	第1期	267,900 円	第2期	267,900 円	第3期	円	第4期	円	第5期	円	第6期	円	(うち、必須教材費)	円)
	円																		
第1期	267,900 円																		
第2期	267,900 円																		
第3期	円																		
第4期	円																		
第5期	円																		
第6期	円																		
(うち、必須教材費)	円)																		
2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 269,000円																			
① 任意の教材費(税込額) 約 110,000 円																			
② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額) 多い方で、約 150,000 円																			
③ 施設維持費(税込額) 0 円																			
④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額) 9,000 円																			
3. 総額 (1+2) (税込額) 1,086,800 円																			